

# 武力攻撃やテロなどから 身を守るために

## 国民保護

外国からの武力攻撃やテロなどが起こった際には、皆さんの安全を守るために、国や都道府県、市町村が連携し、対応することとしています。しかし、このような事態が、「いつ、どこで、どのように発生するかを事前に予測することは極めて困難です。また、一人ひとりの混乱が、さらなる被害の拡大につながる可能性もあります。それでは、そうした事態に遭遇した場合、どのように対応すればいいのか。

### 国民保護って何だろう

国民保護とは、外国からの武力攻撃や大規模テロなどから国民の生命・身体・財産を守るための仕組みです。万が一、大規模テロや外国からの武力攻撃が発生した場合、市民の皆さんの「避難」や「救援」などについて、国や都道府県、市町村が連携協力して行うものです。

### 緊急対処事態とは

テロなどにより、多数の人を殺傷または殺傷される恐れがある事態をいいます。国は

右下のような4つの事態を想定しています。

■武力攻撃事態とは 外国からの攻撃が発生または発生する恐れがある事態をいいます。国は、7ページ左下のような4つの類型に応じた避難などの留意点を想定しています。

### 皆さんにお願いしたい行動

#### テロなどに遭遇してしまったら

万が一、大規模テロなどの緊急対処事態や武力攻撃事態に遭遇してしまった場

合、一人ひとりの混乱が対応の遅れや新たな危険を招き、被害が拡大する可能性があります。まずは慌てず落ち着いてテレビやラジオの情報をもとに聞き、正しい情報を把握することが重要です。また、消火活動や負傷者の搬送など、住民の皆さんに協力をお願いすることがあります(下のイラスト)。

#### 警報を受け取る 緊急速報メール

大規模テロ情報などの国民保護情報は緊急地震速報

## 緊急対処事態 (大規模テロ)の特徴

- 可燃性ガス貯蔵施設などの爆破、ダムの破壊など、危険物を内在する物質を有する施設などに対する攻撃が行われる事態。
- 大規模集客施設・ターミナル駅・列車などの爆破など、多数の人が集合する施設、大量輸送機関などに対する攻撃が行われる事態。
- 炭疽菌など生物剤の航空機などによる大量散布、市街地におけるサリンなど化学剤の大量散布、水源地に対する毒素などの混入など、多数の人を殺傷する特性を有する物質などによる攻撃が行われる事態。
- 航空機による多数の死傷者を伴う自爆テロなど、破壊の手段として交通機関を用いた攻撃などが行われる事態。

被害を最小限にするため、皆さんに以下のようなご協力をお願いすることがあります。



住民の避難や被災者の救援の援助

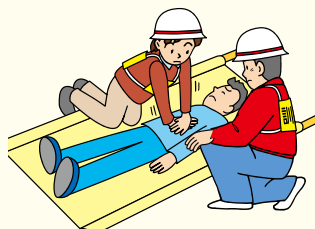
衛生広報などのために保健所などが作成したパンフレットの配布など



保健衛生の確保に関する措置の援助



消火活動、負傷者の搬送、被災者の救助などの援助



避難に関する訓練への参加

◎火事などの災害情報は消防出動情報で 消防出動情報は、電話や携帯サイトでお知らせしています。119番は火事や救急などの緊急通報用電話番号です。適正利用にご協力ください。なお、停電時には、使えない電話があるので、携帯電話や公衆電話から119番通報をお願いします。災害情報テレホンサービス(自動音声) ☎(624)2441、携帯サイト📍<http://utsunomiya.mwjp.jp/mobile/?page=119>。📞消防本部通信指令課☎(625)5599

# 万が一の事態が発生したら 避難の仕組み

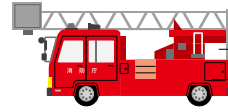
武力攻撃や  
大規模テロ  
などが発生

警報の発令・  
通知



避難の指示

避難住民の誘導



警報が発令されたら皆さんに  
直ちに取っていただきたい行動

## ■屋内

- ▽ドアや窓を全部閉める。
- ▽ガス・水道・換気扇を止める。
- ▽ドア・壁・窓ガラスから離れて座る。

## ■屋外

- ▽近くの丈夫な建物など、屋内に避難する。
- ▽自動車を運転中の場合は、道路外に車を止める。やむを得ず道路に止める場合は、道路の左端に止め、緊急通行車両の妨げにならないようにする。



避難指示が出たら指示に従い落ち着いて行動

避難の指示に基づき、自宅から避難所へ避難する場合には、次のことに留意してください。

- ▽ガスの元栓を閉め、電気器具のプラグをコンセントから抜く。
- ▽頑丈な靴、長ズボン、長袖シャツ、帽子などを着用し、非常持ち出し品を持つ。
- ▽運転免許証など、身分を証明できるものを持つ。
- ▽家の戸締まりをする。
- ▽近所の人に声を掛ける。
- ▽避難経路や手段など、指示に従い適切に避難する。

## 武力攻撃の手段・規模などに 4つの類型に応じた 避難などの留意点

■**着上陸侵攻の場合** 避難が必要な地域が広範囲にわたり遠方への避難が必要になると共に、期間が長期にわたることも想定される。避難経路や手段などは行政機関の指示に従い適切に避難する。

■**ゲリラや特殊部隊による攻撃の場合** 突発的に被害が発生することも考えられるため、攻撃当初は一旦屋内に避難し、その後状況に応じ行政機関からの指示に従い適切に避難する。

■**弾道ミサイルによる攻撃の場合** 攻撃当初は屋内（近くの頑丈な建物や地下街）へ避難し、その後状況に応じ行政機関からの指示に従い適切に避難する。

■**航空攻撃の場合** 攻撃の目標値を特定することが困難なため、屋内（近くの頑丈な建物や地下街）への避難指示の対象が広範囲にわたることが考えられる。その後状況に応じ行政機関からの指示に従い適切に避難する。

## 万が一の事態に対する 行政の対応

警報 日本に対する武力

報を発令します。

攻撃が迫った場合、国が警

報を発令します。

■**避難** 避難の必要がある

場合、消防・警察・自衛隊

などが連携・協力して避難

誘導を行います。

慌てず落ち着いた行動を

警報が発令された場合は、

屋内ではドアや窓を全部閉

めるなど、屋外では近くの

丈夫な建物など屋内に避難

するなどしてください。ま

た、避難指示が出された場

合は、ガスの元栓を閉める

などして、適切に避難して

ください（上の図）。

■**被害の最小化** 武力攻撃

に伴う被害をできるだけ小

さくするために、国・県・

市が協力して、次の必要な

措置を行います。

■**救活活動** 県・市・日本

赤十字社などが力を合わせ

て、次の活動を実施します。

▽収容施設の設置や、食

品・飲料水、生活必需品、

医薬品などの提供。

▽行方不明者や家族と離れ

離れになった人のための安

否情報の収集など。

■**国民保護を  
もっと詳しく**

内閣官房では、国民保護

の仕組みや実際に被害に

遭ったときの行動などを、

国民保護ポータルサイト

ホームページ <http://www.kokuminhogo.go.jp/> で詳

しく掲載しています。

3 ④危機管理課 ☎(632)205

▽鉄道など生活に関連する

施設の安全の確保、警備の

強化、立ち入り制限など。

▽危険物・毒物・劇物・高

圧ガスなどの取扱所での製

造禁止・制限など。

▽警戒区域の設定。

▽消火・救急・救助活動。